

令和5年度 三刀屋高等学校(年間評価と今後の改善策)

4段階評価

A:十分に達成できている状況
C:どちらかといえば達成できていない状況

B:概ね達成できている状況
D:ほとんど達成できていない状況

今年度重点目標		自己評価				学校関係者評価	
		R5 肯定的回答の平均(%)	R4 肯定的回答の平均(%)	評価	概要と今後の改善策		
1 授業の充実	(1)「三高トライアングル学習」の強化による「学力育成推進プラン」の推進 (2)新課程を見据えた教材研究・授業改善 (3)試験問題や学習評価の工夫 (4)ICT機器・学校図書館の利活用教育の推進	72.7 教:71.7 生:81.1 保:65.4	71.3 教:57.6 生:83.0 保:63.7	B	<p>■昨年度、大幅にダウンした教員評価が持ち直した。各自が授業改善に取り組んだ結果が評価の上昇につながった。ICT機器を活用した授業が少しずつ軌道に乗っていると感じている。</p> <p>■「公開授業」において活発な相互参観は見られなかったのは課題である。公開授業の効果的な実施方法の検討や、教員全員参加に向けた実施方法の改善を図りたい。</p> <p>■ICT教育に関して、Google classroomやスクールタクトの利用を促進し、ICT研修などを通して各教科に落とし込み、情報共有・実践の場を広げていきたい。</p>	B	<p>■ICT教育はスムーズに行われていると感じる。さらに良くなるようにバージョンアップ等を進めて欲しい。</p> <p>■zoom等を使ったりリモート授業が行われているようだが、将来的には出席扱いになると良い。</p> <p>■教科書を全てタブレット端末に入れることができると良い。</p>
2 キャリア教育	(1)3年間の見通しとねらいの明確化、振り返り (2)地域資源の活用、多様な文化や価値観との出会い (3)教科学習、進路実現との連携	74.9 教:75.4 生:85.2 保:64.1	72.7 教:68.2 生:79.8 保:69.5	B	<p>■進路指導に関わる情報提供の質問について、肯定的回答の割合の上昇が見られた。一方で保護者の回答に「やや不十分」という評価の割合が比較的高いことが課題である。保護者にどのように情報を届けるのか、保護者が必要としている情報は何かなど、引き続き探っていきたい。</p> <p>■「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」の授業は地域貢献への意欲を高める内容である。魅力化アンケートでも地域に関わりたいと答えた生徒の割合は県・全国平均より高い値である。授業は教員と生徒の関係性が重要と考えているので、引き続き教職員の積極的な関わりを求める。</p>	A	<p>■推薦選抜を含め、大学進学に関して、総合学科の特長を活かせるような工夫して欲しい。</p> <p>■先生から指導をうけることで進路に対する意識が変わり、自分で資料を請求するようになった。継続して進路に関する指導して欲しい。</p> <p>■県内の求人は減少しているが、三刀屋高校の生徒はキャリア教育を通してコミュニケーション力がついているので就職に有利であると思う。</p>
3 部活動等の活性化	(1)部活動の活性化 (2)生徒会や生徒発の活動の推進など生徒主体の活動の活性化 (3)異校種や他校との交流の活性化 (4)活躍の機会や場の創出と積極的発信	92.4 教:94.4 生:91.8 保:91.0	91.0 教:93.4 生:90.8 保:88.5	A	<p>■例年、生徒・保護者からは部活動の適切な休養日の設定や帰宅時間についての意見が多かったが、今回はそのような意見は見られなかった。次年度も各部において、休養日の設定や適正な活動時間の取り組みを進めたい。</p> <p>■生徒の評価が高いことは、学校への満足度や学校生活への意欲、学校全体の活気に直結していると考えられ、本校への志願者数が安定していることの要因にもなっている。引き続き、学習と部活動とのバランスを図りながら、適切な部活動の運営に努めたい。</p>	A	<p>■サッカー部が強くなったことに驚いている。さらに活躍してもらうために、ぜひグラウンドを整備して欲しい。</p> <p>■地域で吹奏楽部やダンス部の活躍をよく耳にする。ダンス部には小学生のファンもいるようだ。</p> <p>■降雪時には野球部の生徒たちが雪かきをして地域に貢献している。</p>
4 居場所のあり 学5 びの安心 環境・安全 な	(1)支持的風土の醸成 認め合い、高め合い、励まし合い・・・ (2)広い視野と豊かな感性の育成、読書の推奨 (1)人権教育・道徳教育の推進 (2)生徒理解と組織的な支援 (3)教育環境・生活環境・職場環境の整備と快適化	94.7 教:93.9 生:95.5 保:94.6	83.7 教:88.2 生:76.3 保:96.9 95.4 教:96.7 生:96.4 保:94.7	A	<p>■今年度、適切な服装について生徒に情報発信する機会が多かったが、あまり改善されている実感がなかった。それが教員評価と生徒評価の乖離という形で数値に表れた。定例の身だしなみ指導のみならず、日々の教職員全体による指導体制づくり、校則の共通理解、進路指導部との連携など、生徒部からの情報発信に努めたい。</p> <p>■いじめの防止及び早期問題解決に関する質問は、概ね肯定的回答であったが、まだいじめの認知の報告が遅れることがあるので、引き続き「組織で対応する」という意識の定着を図りたい。</p> <p>■人権に関する質問に肯定的な意見が多いが、生徒の人権意識調査では、まだ人権意識に欠ける様子もうかがえる。教職員、生徒ともに人権意識を高めるために今年度の取り組みを継続しつつ、効果的な活動を検討しながら実施したい。</p> <p>■感染症予防に関する評価が年々下がっている。慣れに加えて新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことが要因であろう。感染症予防については、今後も手指消毒の設置を続けていく。その他、感染者の増加期には休憩時間の窓開けと換気を校内放送で呼びかけたい。</p>	A	<p>■新しい制服が中学生の志願者増につながっているのではないかと。以前は仕方なくスカートを履いている生徒もいた。</p> <p>■制服が新しくなったことに関連して、LGBTQに関して理解が進むことを期待している。</p> <p>■学校に登校しにくくなり、保健室に登校している生徒に対して配慮していただきたい。</p>
重点目標以外で評価を求めたい項目 (学校からの情報発信について)		93.6 教:100.0 生:93.6 保:87.1	94.4 教:100.0 生:96.1 保:87.0	A	<p>■新ホームページの運用が始まり、部活動・分掌・学年会などで大会結果や各種イベントの様子など、写真を使ってこまめに発信した。三高メールやGoogle classroomを使用して生徒・保護者・教職員への緊急連絡等も遅滞なく頻繁に送られた。次年度も各部署から多くの情報を提供してもらい、広く地域へ、そして中学生に向けて、最新でより積極的な情報発信に努めたい。</p>	A	<p>■学校からの情報発信に外部人材を投入してはどうか。</p> <p>■学校評価において保護者の評価が低くなる傾向がある。保護者が学校の様子を把握できるような工夫が必要である。</p>